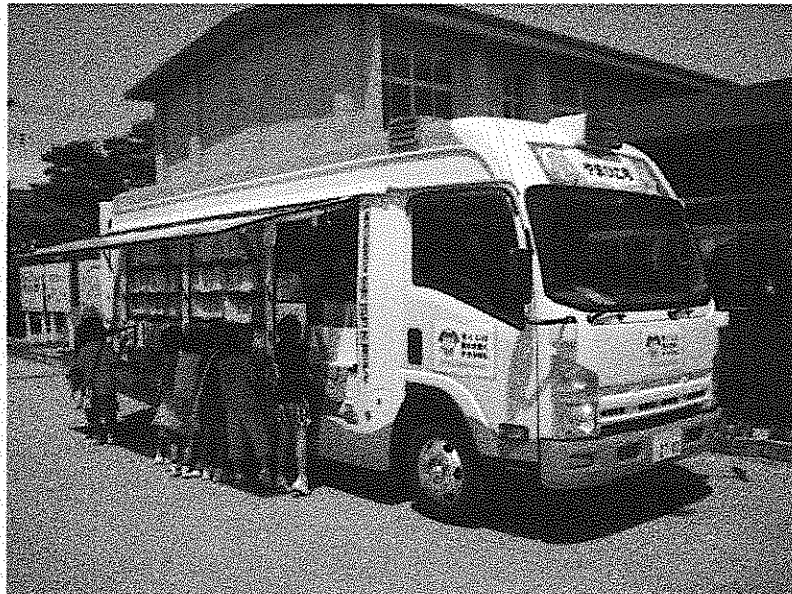


平成 25 年 度

鶴 岡 市 立 図 書 館 要 覧



鶴 岡 市 立 図 書 館

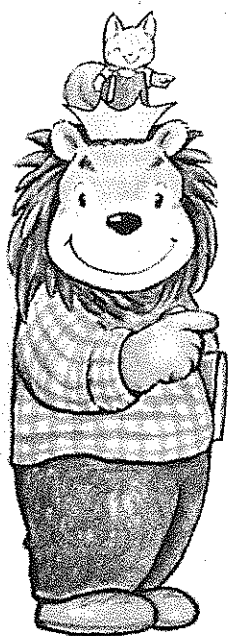
# 目 次

鶴岡市のあゆみ	-----	1
鶴岡市の地勢	-----	2
図書館の沿革	-----	3
施設の概要	-----	5
事業予算の推移	-----	8
平成24年度事業実施状況	-----	9
鶴岡市立図書館データ（平成24年度）	-----	12
平成24年度利用統計	-----	26
平成25年度図書館・郷土資料館重点施策	-----	27
平成25年度主要事業	-----	30
平成25年度自動車文庫駐車場	-----	33
購読新聞・雑誌一覧	-----	34
新聞・マイクロフィルム保存一覧	-----	36
ボランティア団体の活動	-----	37
郷土資料館の概要	-----	39

☆

## 鶴岡市立図書館本館カレンダー（平成25年）

### 鶴岡市立図書館キャラクター



ヨンデール



リードン

©つちだよしはる

## 鶴岡市のあゆみ

当地方における先住民族の遺跡は遠く石器時代にさかのぼりますが、縄文時代前・中期の先住跡が現在の鶴岡市岡山地区から発見されています。

奈良時代に入り、和銅5年(712年)出羽・田川・飽海の3郡をもって出羽国がおかれ市域は田川郡に属していました。

鶴岡は旧名を大宝寺と称し、平安時代の末期には大泉荘という荘園の中心となっていました。鎌倉時代のはじめ、武藤氏が大泉荘の地頭として支配し、以来中世を通じて地方の中心として栄えましたが、天文年間(1530年代)武藤氏は戦乱の中に要害を求めて尾浦城(現在の大山)に移り大宝寺の町も一時衰微しました。

武藤氏の滅亡後、庄内は越後上杉氏の支配するところとなり、大宝寺城は天正19年(1591年)上杉氏の武将直江兼続によって修築されました。

その後、関ヶ原の戦いの結果、山形城主最上義光が慶長6年(1601年)庄内を治めることとなり、義光は大宝寺城を隠居の城として整備し、同8年にはその名を鶴ヶ岡城と改めました。

「鶴岡」の地名はこの時にできたものです。

江戸時代に入り、元和8年(1622年)最上氏にかわって徳川氏の譜代大名酒井忠勝が庄内に入国しました。以来酒井氏13代約250年の間、鶴岡は庄内藩14万石の城下町として庄内の政治・経済・文化の中心となって発展し、明治維新に至りました。

明治2年(1869年)酒井氏は藩籍を奉還、同4年の廃藩置県により大泉県となり、この年のうちに庄内全域が酒田県と改められました。

次いで明治8年に鶴岡県と改称され同9年、山形県・置賜県と合併して現在の山形県に属することになりました。

さらに明治11年郡区編成法により庄内は東田川郡・西田川郡・飽海郡に分かれ、西田川郡役所が鶴岡におかれました。

明治22年4月、町村制の施行によって鶴岡は新しい自治体「鶴岡町」として発足し、大正7年に稲生村を、同9年には大宝寺村を編入し、町勢は年とともに発展しました。さらに、国鉄羽越本線が全線開通した大正13年10月1日、全国でちょうど100番目の市として市政を施行し、鶴岡市(5,938世帯・32,351人)が発足しました。

その後、市勢は順調に進展し、昭和30年には隣接の1町9村を、さらに同38年には大山町を編入合併し新しい鶴岡市が形成されました。

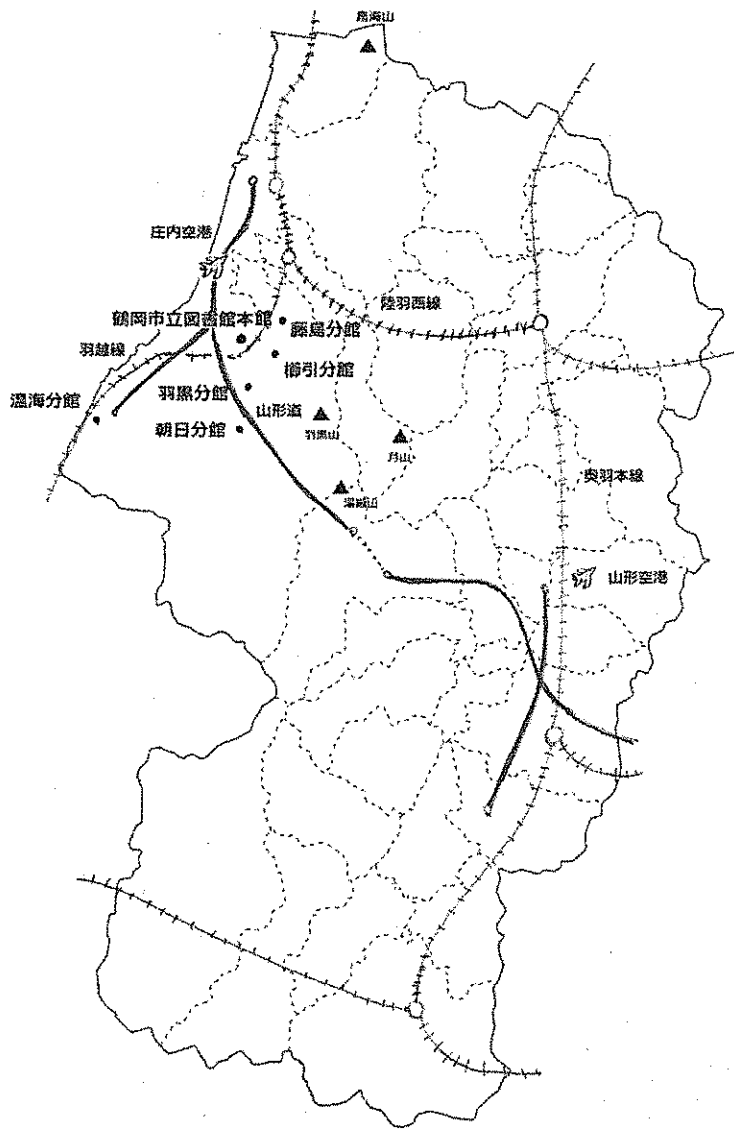
そして、昭和60年の国勢調査では人口が待望の10万人を突破するとともに、長年の夢であった庄内空港が平成3年10月に開港、東北横断自動車道酒田線も平成9年10月には本市分が開通し、同13年10月には月山道を介して全線開通しています。

また、高等教育機関の一層の充実を図り、平成13年5月に慶応義塾大学先端生命科学研究所が、さらに平成17年4月には東北公益文科大学大学院が開設されました。

こうした状況の中、平成17年10月、庄内南部の藤島町、羽黒町、櫛引町、朝日村、温海町そして鶴岡市が合併し、東北一広い面積を有する現在の鶴岡市が誕生しました。

歴史と未来の調和を基本とし、教育・福祉の向上と産業の振興、国際化への対応を積極的に推進し、市民生活の向上はもとより、広域的にも貢献できる都市づくりに努めています。

## 鶴岡市の地勢



東経 139度49分  
北緯 38度43分

東西 43.1 km  
南北 56.4 km  
面積 1311.51k m<sup>2</sup>  
標高 15m

山形県の庄内平野は、源を異にする最上川と赤川の流れによってはぐくまれた美田の平野で、北に秀峰鳥海山、東に出羽三山（羽黒山、月山、湯殿山）を望み、南は朝日連峰の山々に囲まれ、日本海に面した一帯には大砂丘が広がり、風光明媚な穀倉地帯となっています。

この、庄内平野の南部に位置する鶴岡市は、東北のアルプス朝日連峰と信仰の山伏修験道の山、出羽三山の表玄関にあたり、また庄内観光の基点として庄内三湯の温泉郷を有し、多くの史蹟と文化財、豊かな自然に恵まれた観光都市でもあります。

## 図 書 館 の 沿 革

- 大正 4年 11月 鶴岡公園に建てられた「大宝館」(大正天皇の御即位を記念したもの)内に鶴岡町立図書館が設置される。  
前身は、明治44年開設の私立鶴岡図書館である。
- 14年 10月 「大宝館」北側に独立館舎を建設移転する。
- 昭和 3年 1月 館外貸出制度を始める。
- 9年 4月 「大宝館」事業の一環として行なわれていた図書館経営が分離独立する。
- 20年 8月 第2次世界大戦が悪化。夜間開館を中止し、蔵書約2,000冊を東田川郡大泉村(旧朝日村)上田沢の民家10戸に分散疎開する。  
同月終戦となり9月26日返還する。
- 24年 8月 全蔵書を日本十進分類法により整理し、蔵書目録を刊行する。
- 25年 4月 図書館法制定。鶴岡市立図書館設置条例が施行される。  
26年～28年にかけて図書館事業も隆盛を極めた。(日本文学・郷土史等の講座、レコードコンサート、展示会、読書感想文募集など)
- 26年 11月 大宝館を全館使用することとなり再び移転する。
- 30年 4月 町村合併が行なわれ、巡回文庫が始まる。後の自動車文庫である。
- 45年 巡回文庫用の自動車を配置(県やまなみ号の払い下げ)する。
- 46年 4月 旧藤島町立図書館開館。
- 49年 5月 自動車文庫専用車としてマイクロバス型の新車を購入。車名を公募し、「やまびこ号」と命名する。
- 51年 6月 図書館に隣接する旧荘内神社社務所跡に「鶴岡市郷土資料館」を建設。職員は兼務体制となる。
- 55年 9月 教育委員会内に「図書館建設審議会」が設置される。
- 59年 5月 新館の建設工事を着工する。
- 60年 3月 新館が竣工する。6月から1ヶ月間移転作業となる。  
7月 23日新館が竣工、創立70周年記念式典を挙げる。翌24日から開館する。
- 61年 3月 開館記念文化講演会―五木寛之氏「行間を読む」―を開催する。
- 61年 4月 旧楡引町立図書館開館。
- 平成 2年 5月 自動車文庫「やまびこ号」を更新する。
- 3年 2月 コンピュータ業務を開始する。
- 4年 4月 県立図書館とのオンライン業務を開始する。
- 6年 11月 第2駐車場が完成する。
- 7年 2月 郷土出身作家コーナー(郷土の光文庫)を設置する。  
11月 第15回山形県図書館研究大会を鶴岡市で開催。  
席上、創立80周年記念講演会―渡部昇一氏「本・読書・ふるさと」を開催する。

- 8年 10月 コンピュータを更新する。利用者開放端末を設置する。
- 9年 6月 鶴岡総合研究所コーナーを設置する。
- 11年 4月 郷土資料館の展示機能を郷土資料室(図書館2階)に移し、公園内の資料館を当分休館とする。
- 13年 10月 コンピュータを更新し、図書館ホームページを公開する。  
図書館蔵書をインターネットによって検索し仮予約ができるようになる。
- 15年 10月 第23回山形県図書館研究大会を鶴岡市で開催する。
- 17年 10月 鶴岡市、藤島町、羽黒町、櫛引町、朝日村、温海町の1市4町1村の合併に伴い新鶴岡市立図書館(本館と分館)が発足する。
- 18年 10月 コンピュータを更新するとともに、新鶴岡市立図書館システムの導入計画を策定する。
- 19年 4月 朝日分館において図書館システム稼動。
- 20年 1月 馬場町にあった「郷土資料館」を解体。図書館2階の「郷土資料室」を「郷土資料館」に変更、図書館に併設となる。
- 20年 5月 藤島、羽黒、櫛引、温海各分館との図書館システムオンライン稼動する。  
貸出冊数の上限を10冊に変更する。
- 21年 3月 自動車文庫「やまびこ号」を更新する。  
地元出身の絵本作家土田義晴氏の原画をラッピングする。
- 22年 3月 自動車文庫「やまびこ号」に描かれている図書館のイメージキャラクターの名称を公募し、ライオンは「ヨンデール」おおかみは「リードン」とする。
- 23年 10月 第31回山形県図書館研究大会を鶴岡市で開催する。
- 10月 図書館開館100周年(平成27年)記念プレ事業として文化会館を会場に「谷川俊太郎朗読コンサートin鶴岡」を開催する。
- 25年 1月 「佐藤賢一が語る新徴組と幕末」を開催する。
- 2月 図書館システムを更新する。期限票がレシートになる。

## 施 設 の 概 要

### 本 館

- 1 所在地 鶴岡市家中新町14番7号
- 2 敷地面積 3,841.04㎡
- 3 延床面積 2,180.70㎡ (1階 1,210.36㎡、2階 970.34㎡)
- 4 構 造 鉄筋コンクリート造2階建
- 5 工 期 着工、昭和59年6月1日 竣工、昭和60年3月25日
- 6 開 館 昭和60年7月24日
- 7 工 事 費 5億3千万円 (昭和59年度公立社会教育施設整備費補助金8千2百万円)  
(2,126.929㎡ 対象事業費 464,760,985円)
- 8 駐 車 場 56台
- 9 図書収容能力 268,000冊

### 【 1 階 】

- ⇒ コントロールカウンター 利用カードの交付や館内の案内、貸出返却、予約、コピー、読書相談、レファレンス (参考相談) などを行ないます。
- ⇒ 一般開架室 貸出用の一般図書が置かれており、自由に選ぶことができます。
- ⇒ 調査読書室 40人席で、隣接の開架室から自由に本を選んで調査、読書ができます。
- ⇒ ブラウジング (軽読書)コーナー 新聞や雑誌を、くつろいだ雰囲気の中でゆっくりと楽しめます。
- ⇒ こども室 ものがたり・絵本・紙芝居などがたくさん揃っており、ジュータンが心地よい幼児コーナー、楽しい紙芝居や読み聞かせのできるおはなしコーナーもあります。

### 【 2 階 】

- ⇒ 郷土資料館 当地方の史料 (古文書・絵図など) を調査収集するとともに、これに専門的な整理を施して保管し一般に公開します。  
また、館内閲覧用の郷土図書も揃っています。
- ⇒ 展示コーナー 郷土の歴史を物語るいろいろな史料を常時展示しています。
- ⇒ 講座室 80人席のスペースがあります。
- ⇒ 閉架書庫 14万6千冊の図書と20万点以上の古文書などを収めています。地元  
の新聞も大正5年以降の分を保存しています。

### 藤島分館

- 1 所在地 鶴岡市藤島字山ノ前99 (東田川文化記念館内)
- 2 開館 昭和46年4月
- 3 図書収容能力 20,000冊

### 羽黒分館

- 1 所在地 鶴岡市羽黒町字荒川字谷地堰28 (羽黒コミュニティセンター内)
- 2 開館 平成17年10月1日
- 3 図書収容能力 10,000冊

### 楡引分館

- 1 所在地 鶴岡市上山添字文栄60 (楡引情報センター内)
- 2 開館年月日 昭和61年4月
- 3 図書収容能力 20,000冊

### 朝日分館

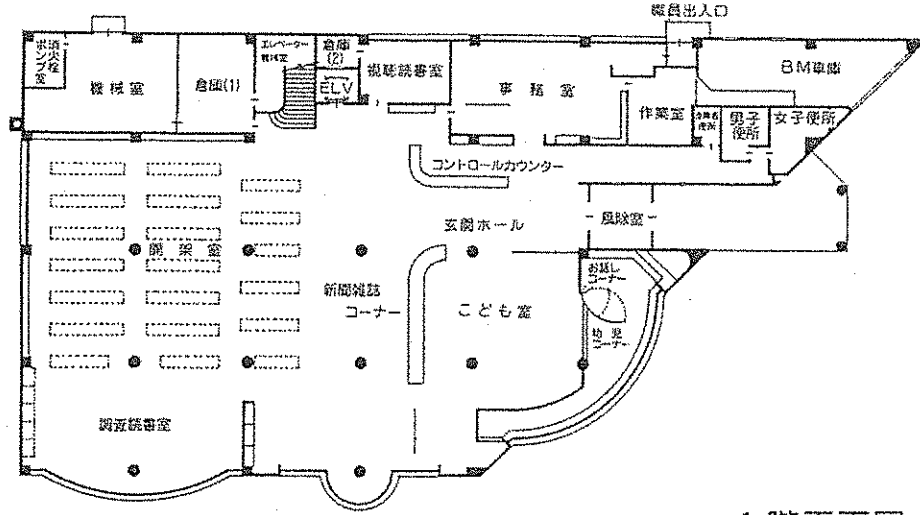
- 1 所在地 鶴岡市下名川字落合220 (朝日山村開発センターすまいる内)
- 2 開館 平成17年10月1日
- 3 図書収容能力 20,000冊

### 温海分館

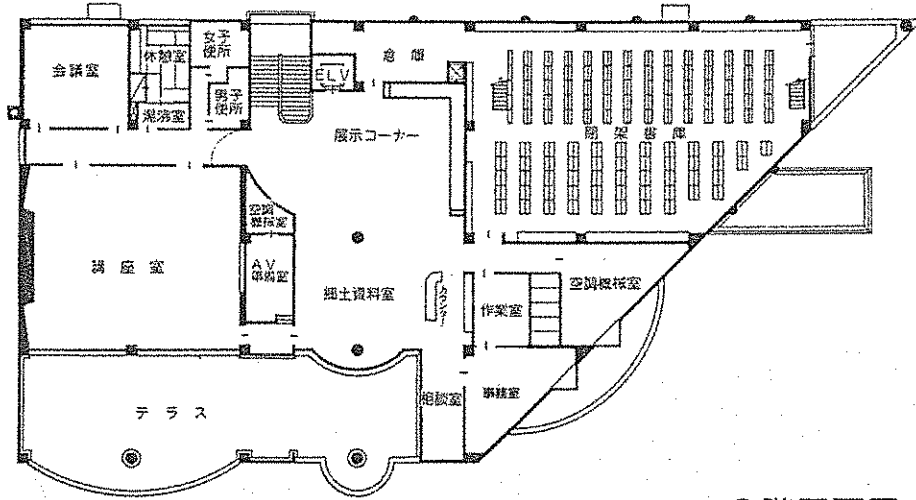
- 1 所在地 鶴岡市温海戊577-1 (温海ふれあいセンター内)
- 2 開館 平成17年10月1日
- 3 図書収容能力 10,000冊



本館館内図



1階平面図



2階平面図

# 事業予算の推移

(当初予算)

(単位：千円)

	平成25年度	平成24年度	平成23年度
総額	41,036	47,034	41,476
報酬	1,196	1,196	1,264
賃金	0	0	0
報償費	952	809	800
旅費	431	311	313
需用費	11,189	9,864	9,241
消耗品費	3,188	3,108	3,058
燃料費	1,647	1,411	1,148
食糧費	28	22	22
印刷製本費	875	691	755
光熱水費	3,681	3,634	3,709
修繕費	1,770	998	549
役務費	531	539	541
通信運搬費	498	508	510
手数料	33	31	31
委託料	4,882	5,252	5,115
使用料及び賃借料	6,162	5,513	2,930
工事請負費	120	0	0
備品購入費	15,500	23,480	21,205
負担金補助及び交付金	73	70	67

- ・分館分も含む
- ・臨時職員賃金は教育委員会管理課に計上
- ・平成24年度備品購入費（図書費等）には「光を注ぐ臨時交付金」6,200千円を含む。

## 平成24年度 事業実施状況

### (1)本館

事業名	対象	内容	時期	摘要
春のたねまきお話会	幼児・小学生	素語り・おはなし会	5月13日	参加者65人
除籍本等プレゼント	利用者・市民	除籍本・雑誌・寄贈本等を必要な方にプレゼント	5月25日 7月25日～29日(緑陰文庫)読書週間	約9,000冊
夏のおはなし会	幼児・小学生	素語り・おはなし会	8月3日,4日	参加者215人
手づくり絵本・紙芝居コンクール	幼児・小学生・一般	親子・祖父母などで手づくり絵本を楽しむ	8月募集・9月表彰	応募点数 絵本52点、紙芝居6点
児童読書感想文コンクール	小学生	読書週間記念事業	7月募集・10月表彰	応募点数 272点
児童読書感想画コンクール	小学生	読書週間記念事業	10月募集・12月表彰	応募点数 274点
上野甚作短歌募集	小・中・高・一般	上野甚作の功績を讃え短歌を募集、優秀作品を表彰する	1月募集・3月表彰	小中高434首 一般65首
クリスマス絵本まつり	幼児・小学生	絵本の読み聞かせ・紙芝居絵本展示	12月15日 12月16日	参加者 188人
対面朗読ボランティア派遣	福祉施設入居者等	紙芝居・エッセイの朗読他	水曜・土曜 月各1回	52回 参加者1,182人
子どもおはなし会	幼児・小学生	絵本の読み聞かせ・紙芝居他	毎週水・土曜日	延べ参加者913人
おはなしボランティア派遣	学校・地区	素語り・ブックトーク	6月～2月	延べ参加者 777人
1歳お誕生日教室での読書指導	乳児を持つ保護者	読み聞かせの指導、本の紹介、図書館利用案内等	4月～3月	健康課主催

## (2) 藤島分館

### ①親子読書会（年間4回・参加者242人）

幼児及び小学生とその保護者を対象に開催。

### ②館内読み聞かせ事業

毎週水曜日午後3時から。幼児及び小学生を対象に実施。

### ③おはなしボランティア派遣事業（5ヶ所・7回）

幼児及び小学生とその保護者を対象におはなし会を開催。

### ④ブックスタート事業

7ヶ月児とその保護者を対象に絵本の読み聞かせ、絵本の選定方法などの指導を実施。

## (3) 羽黒分館

### ①図書ボランティアへの活動支援

### ②おはなし会（7月・参加者17人）

幼児及び小学校低学年とその保護者を対象に、絵本などの読み聞かせを開催。

### ③おはなしのつどい開催（3月23日 参加者44人）

図書ボランティアによる絵本と紙芝居の読み聞かせを開催。

### ④ブックスタート事業

7ヶ月児、2歳児とその保護者を対象に絵本の読み聞かせの大切さと絵本の選定について指導。

### ⑤ワークショップ「つちだよしはるさんをつくろう in 羽黒」での読み聞かせの実施

（参加者54人）

## (4) 櫛引分館

### ①昔話を楽しむ会（年間9回・参加者134人）

地域に古くから伝わる昔話を紹介し民俗文化の伝承を図った。

### ②おはなしひろば（年間10回・参加者157人）

絵本と紙芝居の読み聞かせを実施した。

### ③人形劇公演（8月30日・参加者177人）

子どもが知っているお話を、動きのある人形劇で上演することで興味を持たせ、幼児期からの読書の普及・啓蒙を図った。

### ④親子のふれあい推進事業(ブックスタート事業)

3・4ヶ月児、7・8ヶ月児、1歳6ヶ月児とその保護者を対象に読み聞かせの大切さや絵本の選定等について指導した。

## (5) 朝日分館

### ①おはなしボランティアによる読み聞かせ会の開催及び活動支援（図書館内の場所と本の提供）

（年間22回・参加者数120人）

### ②なつのおはなし会（7月14日 参加者26人）

朝日地域のおはなしボランティア「この本だいすきの会」による大型絵本の読み聞かせと人形劇を実施した。

### ③ふゆのおはなし会。（12月12日・参加者36人）

朝日地域のおはなしボランティア「この本だいすきの会」によるクリスマスに関するタペストリーの展示とエプロンシアター及び紙芝居を実施した。

## (6) 温海分館

### ①おはなし会の開催

子どもが親や家族と一緒に本に親しむきっかけとして、読み聞かせボランティア「温海絵本読み聞かせ隊ポッケ」の協力をいただき「読み聞かせ」を行い、子どもの読書活動の推進を図るため「おはなし会」を開催した。

・七夕おはなし会（7月1日・参加者8人）

対象：幼児・小学生

・お月見おはなし会（9月23日・参加者8人）

対象：幼児・小学生

・クリスマスおはなし会（12月2日・参加者15人、12月16日・参加者7人）

対象：幼児・小学生

②「温海絵本読み聞かせ隊ポッケ」の協力により、季節ごとのブックリスト「オススメの本」を年4回作成し配布した。

鶴岡市立図書館 平成24年度統計

1本館

(1) 入館者数 (日・人・人/日)

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
開館日数	295	298	297
入館者数	216,547	206,691	212,266
1日平均	734	694	715

(2) 登録者数 (人)

項目		平成22年度	平成23年度	平成24年度
新規	館内	1,477	1,498	1,663
	自動車文庫	293	298	33
	合計	1,770	1,796	1,696
登録者総数		57,455	58,986	※17,584

※平成24年度は5年間利用ないものを削除したため減少

(3) 貸出利用者数 (人)

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
館内	86,203	80,605	79,130
自動車文庫	9,424	10,757	11,032
合計	95,627	91,362	90,162

(4) 貸出図書冊数 (冊)

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
一般図書	215,161	209,435	209,595
児童図書	109,136	96,966	98,341
自動車文庫	30,830	33,312	34,192
団体貸出	10,139	11,273	11,842
録音図書他	5,221	5,010	3,851
合計	370,487	355,996	357,821

(5) レファレンス件数 (件)

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
口頭	536	969	1,131
電話	131	154	106
文書	14	27	15
合計	681	1,150	1,252

(6) 相互貸借

貸出	314
借受	245

※山形県立図書館との相互貸借は分館分含む。

(7) 予約図書数 (件)

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
一般図書	29,115	28,758	30,847
児童図書	4,156	4,522	5,236
雑誌	1,056	1,214	1,424
A V	109	102	79
合計	34,436	34,596	37,586

※Web予約には分館分も含む  
(本館一括処理のため)

## (8) 団体貸出 (冊)

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
団体数	238	257	271
冊数	10,139	11,273	11,842

## (9) 複写件数 (件)

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
依頼件数	2,340	2,281	2,355
枚数	25,933	26,515	31,002

## (10) 自動車文庫運行状況 (日・人・冊)

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
駐車場数	52	55	55	
開設日数	165	150	154	
延べ開設数	596	607	637	
新規登録	男	144	161	14
	女	143	137	19
	計	287	298	33
貸出登録者総数	男	2,219	2,380	—
	女	2,988	3,125	—
	計	5,207	5,505	—
利用者数	男	3,613	4,514	4,823
	女	5,204	6,119	6,071
	団体	238	257	138
	計	9,055	10,890	11,032
貸出冊数	一般	9,428	10,555	10,034
	児童	21,402	24,974	27,507
	計	30,830	35,529	37,541

貸出登録者総数は、24年度に5年間使用しないものを削除したため、不明

## (11) 蔵書受入数(冊)

項	目	平成22年度	平成23年度	平成24年度			総計
				受入数	除籍数	計	
一般図書	受入	3,295	-405	7,458	10,240	-2,782	163,743
	寄贈(内数)			1,677			*
児童図書	受入	1,242	127	1,470	2,874	-1,404	33,180
	寄贈(内数)			44			*
自動車文庫	受入	713	1,078	2,200	2,809	-609	44,192
	寄贈(内数)			12			*
紙芝居	受入	-408	111	46	459	-413	2,452
	寄贈(内数)						*
点字図書							721
小花文庫							1,358
相良文庫							1,247
林文庫							376
森文庫	受入						155
	寄贈(内数)						
誠朗文庫	受入	5,550					5,550
	寄贈(内数)	5,550					
録音図書							3,540
C D	受入		76	19		19	1,156
	寄贈(内数)						*
大活字本		-212	1	63	77	-14	1,717
郷土の光	受入	40	104	125		125	1,713
	寄贈(内数)						*
V D	受入						242
	寄贈(内数)						*
DVD	受入			168		168	168
	寄贈(内数)			62			*
総数	受入	10,220	1,092	11,549	16,459	-4,910	261,510
	寄贈(内数)						*



## (12) 分類別蔵書受入数 (冊)

## ①本館一般書

項 目	平成22年度	平成23年度	平成24年度		総 数
			受入数	除籍数	
総 記	-86	89	187	309	6,704
哲 学	146	137	197	609	7,135
歴 史	424	-544	384	920	18,460
社会科学	743	-365	984	1,427	24,840
自然科学	374	400	551	1,040	10,929
工 業	484	-172	857	1,677	11,280
産 業	201	213	238	609	6,026
芸 術	-605	160	555	930	11,992
言 語	-48	105	75	398	2,765
文 学	1,018	-1,875	1,567	2,320	44,235
郷土図書	644	561	1,863	1	19,377
計	3,295	-1,291	7,458	10,240	163,743

## ②本館児童書

項 目	平成22年度	平成23年度	平成24年度		総 数
			受入数	除籍数	
総 記	26	-172	27	42	516
哲 学	6	2	15	0	254
歴 史	56	-139	48	22	1,316
社会科学	56	16	83	5	1,642
自然科学	122	-42	98	135	3,293
工 業	58	-9	60	32	1,022
産 業	24	22	26	20	720
芸 術	36	-39	55	38	1,420
言 語	14	6	24	17	381
文 学	342	38	368	1,642	10,919
絵 本	502	444	666	921	11,697
計	1,242	127	1,470	2,874	33,180

## ③自動車文庫

項 目	平成22年度	平成23年度	平成24年度		総 数
			受入数	除籍数	
総 記	-12	5	7	2	264
哲 学	-1	18	19	1	483
歴 史	-16	5	57	52	1,191
社会科学	4	15	97	82	1,824
自然科学	-13	4	101	97	2,216
工 業	87	83	203	120	3,245
産 業	15	42	45	3	1,032
芸 術	16	40	64	24	1,891
言 語	-6	9	12	3	273
文 学	212	377	742	365	30,496
絵 本		480	533	53	1,277
計	286	1,078	1,880	802	44,192

藤島分館（平成24年度）

(1) 入館者数（日・人）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
開館日数	306	309	307
入館者数	20,276	17,518	17,274
1日平均	66	57	56

(2) 登録者数（人）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
新規登録	111	91	68

(3) 貸出利用者数（人）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
計	5,339	5,185	5,075

(4) 貸出図書冊数（冊）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
一般図書	9,347	10,061	10,274
児童図書	8,389	7,190	6,536
雑誌	641	662	653
合計	18,377	17,913	17,463

(5) 予約図書数（冊）（藤島分館受け取り分）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
一般図書	701	704	
児童図書	189	133	
雑誌	54	33	
A V			
合計	944	870	1,884

(6) 相互貸借（件）

項目	平成23年度	平成23年度	平成24年度
借受	4	4	0
貸出	0	0	0

※県立図書館との相互貸借は本館件数に含む。

(7) 団体貸出（冊）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
団体数	23	36	7
冊数	104	125	125

(8) 複写件数（件）

項目	平成22年度	平成23年度	平成23年度
依頼件数			
枚数			

※複写サービスは実施していない。

## (9) 蔵書受入数

項 目	受入数	寄贈数	除籍数	計	総 計
一般図書	439	69	0	508	17,255
児童図書	241	31	103	169	7,562
AVその他		1		1	31
計	680	87	103	678	24,848

## (10) 分類別蔵書受入数

項 目	一般図書		児童図書	
	平成24受入	計	平成24受入	計
総 記	17		7	
哲 学	15		3	
歴 史	36		11	
社会科学	52		5	
自然科学	34		15	
工 業	54		15	
産 業	26		5	
芸 術	38		6	
言 語	11		3	
文 学	223		85	
洋 書				
絵 本			103	
紙 芝 居			14	
郷土図書	2			
計	508	17,255	272	7,562

羽黒分館（平成24年度）

(1) 入館者数（日・人）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
開館日数	359	359	359
入館者数	4,772	4,928	5,189
1日平均	13	14	14

(2) 登録者数（人）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
新規登録	105	59	49

(3) 貸出利用者数（人）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
計	2,557	2,798	2,868

(4) 貸出図書冊数（冊）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
一般図書	3,812	4,484	4,583
児童図書	3,929	3,955	4,309
雑誌	313	269	271
合計	8,054	8,708	9,163

(5) 予約図書数（冊）（羽黒分館受け取り分）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
一般図書	301	403	
児童図書	129	169	
雑誌	1	0	
合計	431	572	783

(6) 相互貸借（件）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
借受			
貸出			

※県立図書館との相互貸借は本館件数に含む。

(7) 団体貸出（冊）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
団体数	2	2	2
冊数	183	166	98

(8) 複写件数（件）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
依頼件数			
枚数			

※複写サービスは実施していない。

## (9) 蔵書受入数

項 目	受入数	寄贈数	除籍数	計	総 計
一般図書	296	117	0	413	10,410
児童図書	367	20	0	387	3,536
AVその他	0	1	0	1	54
計	663	138	0	801	14,000

## (10) 分類別蔵書受入数

項 目	一般図書		児童図書	
	平成24受入	計	平成24受入	計
総 記	1		2	
哲 学	8		1	
歴 史	17		15	
社会科学	69		9	
自然科学	14		26	
工 業	80		12	
産 業	4		9	
芸 術	11		2	
言 語	2		5	
文 学	188		51	
洋 書				
絵 本			255	
紙 芝 居				
郷土図書	19			
計	413	10,410	387	3,536

櫛引分館（平成24年度）

(1) 入館者数（日・人）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
開館日数	314	308	307
入館者数	9,797	11,013	9,014
1日平均	31	36	29

(2) 登録者数（人）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
新規登録	66	70	46

(3) 貸出利用者数（人）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
計	2,808	3,195	3,076

(4) 貸出図書冊数（冊）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
一般図書	3,850	4,746	4,655
児童図書	5,080	6,859	6,317
雑誌	193	265	263
合計	9,123	11,870	11,235

(5) 予約図書数（冊）（櫛引分館受け取り分）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
一般図書	204	227	
児童図書	79	118	
雑誌	7	8	
合計	290	353	1,308

(6) 相互貸借（件）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
借受	0	0	0
貸出	0	0	0

※県立図書館との相互貸借は本館件数に含む。

(7) 団体貸出（冊）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
団体数	13	14	14
冊数	1,127	1,325	262

(8) 複写件数（件）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
依頼件数			
枚数			

## (9) 蔵書受入数

項 目	受入数	寄贈数	除籍数	計	総計
一般図書	264	76		340	
児童図書	261	21		282	
AVその他		1		1	
計	525	98	0	623	25,494

## (10) 分類別蔵書受入数

項 目	一般図書		児童図書	
	平成24受入	計	平成24受入	計
総 記	11		0	
哲 学	10		5	
歴 史	25		6	
社会科学	29		31	
自然科学	33		14	
工 業	42		17	
産 業	13		8	
芸 術	49		15	
言 語	1		3	
文 学	121		45	
洋 書				
絵 本			138	
紙 芝 居				
郷土図書	6			
計	340		282	

朝日分館（平成24年度）

(1) 入館者数（日・人）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
開館日数	308	306	307
入館者数	7,346	6,981	7,083
1日平均	23	23	23

(2) 登録者数（人）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
新規登録	39	41	37

(3) 貸出利用者数（人）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
計	2,157	1,970	1,750

(4) 貸出図書冊数（冊）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
一般図書	3,403	3,774	3,487
児童図書	3,405	3,402	2,678
雑誌	37	8	0
合計	6,845	7,184	6,165

(5) 予約図書数（冊）（朝日分館受け取り分）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
一般図書	184	156	
児童図書	37	24	
雑誌	0	2	
合計	221	182	282

(6) 相互貸借（件）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
借受		0	0
貸出	1	0	0

※県立図書館との相互貸借は本館件数に含む。

(7) 団体貸出（冊）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
団体数	45	45	29
冊数	610	632	444

(8) 複写件数（件）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
依頼件数		0	0
枚数	10	0	0



## (9) 蔵書受入数

項 目	受入数	寄贈数	除籍数	計	総 計
一般図書	299	112	0	411	13,881
児童図書	246	19	0	265	4,870
AVその他		1		1	16
計	545	132	0	677	18,767

## (10) 分類別蔵書受入数

項 目	一般図書		児童図書	
	平成24受入	計	平成24受入	計
総 記	3		6	
哲 学	15		5	
歴 史	25		14	
社会科学	30		10	
自然科学	29		19	
工 業	31		10	
産 業	10		6	
芸 術	29		5	
言 語	3		1	
文 学	236		37	
洋 書				
絵 本			152	
紙 芝 居				
郷土図書				
計	411	13,881	265	4,870

温海分館（平成24年度）

(1) 入館者数（日・人）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
開館日数	355	360	359
入館者数	3,307	4,525	5,602
1日平均	9	13	16

(2) 登録者数（人）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
新規登録	100	89	81

(3) 貸出利用者数（人）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
計	2,646	3,021	3,844

(4) 貸出図書冊数（冊）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
一般図書	3,127	4,037	5,039
児童図書	3,485	4,939	5,376
雑誌	187	310	398
合計	6,799	9,286	10,813

(5) 予約図書数（冊）（温海分館受け取り分）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
一般図書	599	780	
児童図書	493	460	
雑誌	15	30	
合計	1,107	1,270	3,682

(6) 相互貸借（件）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
借受	4	1	
貸出	2		

※県立図書館との相互貸借は本館件数に含む。

(7) 団体貸出（冊）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
団体数	9	5	6
冊数	824	1,589	2,952

(8) 複写件数（件）

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
依頼件数			
枚数			

※複写サービスは実施していない。

## (9) 蔵書受入数

項 目	受入数	寄贈数	除籍数	計	総 計
一般図書	359	25	0	384	6,155
児童図書	438	22	0	460	3,100
AVその他	0	0	0	0	50
計	797	47	0	844	9,305

## (10) 分類別蔵書受入数

項 目	一般図書		児童図書	
	平成24受入	計	平成24受入	計
総 記	6		1	
哲 学	4		5	
歴 史	20		14	
社会科学	34		5	
自然科学	26		36	
工 業	77		19	
産 業	18		6	
芸 術	29		14	
言 語	6		4	
文 学	139		80	
洋 書				
絵 本			276	
紙 芝 居				
郷土図書他	25			
計	384	6,155	460	3,100

## 平成24年度 利 用 統 計

		平成24年度	平成23年度	平成22年度
人口 (平成25. 3. 31現在)		135, 403人	136, 146人	137, 453人
蔵書冊数(平成25. 3. 31現在)		353, 924冊	359, 055冊	355, 609冊
登録者総数(平成25. 3. 31現在)		21, 154人	63, 101人	61, 014人
内 訳	館内	21, 154人	(57, 596人)	(55, 810人)
	BM		(5, 505人)	(5, 204人)
新規登録者数		1, 977人	1, 971人	2, 185人
内 訳	館内	(1, 944人)	(1, 673人)	(1, 898人)
	BM	(33人)	(298人)	(287人)
開館日数		298日～359日	298～360日	295～359日
BM運行日数		154日	150日	165日
入館者数		256, 428人	262, 289人	270, 944人
貸出利用人数		106, 775人	107, 531人	110, 609人
内 訳	館内	95, 743人	(96, 774人)	(101, 710人)
	BM	11, 032人	(10, 757人)	(8, 899人)
貸出利用冊数		416, 541冊	419, 803冊	425, 188 冊
内 訳	館内	(366, 626冊)	(371, 382冊)	(381, 371冊)
	BM	(34, 192冊)	(33, 312 冊)	(30, 830冊)
	団体	(15, 723冊)	(15, 109冊)	(12, 987冊)
1日当たりの入館者数 入館者数/開館日数		801人	820人	847人
1日当たりの貸出利用人数				
内 訳	館内 貸出利用人数/開館日数	299. 2人	302. 4人	317. 8人
	BM 貸出利用人数/運行日数	71. 6人	71. 7人	53. 9人
1日当たりの貸出利用冊数				
内 訳	館内 貸出冊数(団体除) /開館日数	1145. 7冊	1148. 2冊	1191. 8冊
	BM 貸出冊数/運行日数	222. 0冊	222. 1冊	186. 8冊
1人1回当たりの貸出利用冊数				
内 訳	館内 貸出冊数(団体除) /利用人数	3. 8冊	3. 8冊	3. 7冊
	BM 貸出冊数/利用人数	3. 1冊	3. 1冊	3. 5冊
登録者の年間利用冊数				
内 訳	館内 貸出冊数(団体除) /登録者数	(本館)18. 9冊	6. 4冊	6. 8冊
	BM 貸出冊数/登録者数		6. 1冊	5. 9冊
登録率 登録者累計/人口×100		15. 6%	46. 3%	44. 4%
人口1人当たりの貸出冊数				
貸出利用冊数(団体・BM含む) /人口		3. 1冊	3. 1冊	3. 1冊

※ 計算における開館日数は320日を使用

※ 平成24年度の登録者数は、過去5年間利用のないものを削除した

## 平成25年度 図書館（本館）・郷土資料館重点施策

### 生涯学習社会に対応する図書館づくり

急速な社会の変化は、市民の日常生活や社会生活に大きな影響を及ぼしています。こうした中、市民の学習ニーズもまた多様化・専門化してきており、図書館は市民の読書施設としての役割とともに市民の生涯学習活動を支援する場としての役割が益々重要性を増しています。また、図書館には、市民の知る権利、学習する権利を保障するという基本的な役割があり、その役割を果たすためには、市民が気軽に図書館に立ち寄り、書架に並んでいる本や雑誌を手にとり、ページをめくる楽しみが感じられるような魅力ある蔵書を整備することが不可欠と言えます。

また、昨年度から地域における生涯学習事業とコミュニティ活動を一体的に推進することにより、地域課題の解決に向けて取り組む推進体制が構築されたことから、図書館も生涯学習施設としての充実を図り、活気あるまちづくりをすすめるための役割を担う施設として、今後専門的な課題にも対応できる機能を強化する必要があります。

折りしも、平成27年は市立図書館開館100周年にあたるため、5分館との連携を強化しプレ事業等を企画・実施することで、さらに多くの市民が読書に親しめるように努めます。また、図書館システムの更新によるサービス向上を図るとともに、移動図書館車への市民ニーズに可能な限り対応しながら、誰もが利用しやすく、常に質の高いサービスを提供できるような図書館をめざします。

#### 1 多様化・専門化する学習ニーズに応える図書資料の充実

- (1) 市民ニーズに応える図書資料の収集（地域の課題解決につながる資料の拡充等）
- (2) 行政資料、郷土出身者の著書、郷土出版資料等の重点収集
- (3) 中高校生（ヤングアダルト）向け図書資料の充実
- (4) 郷土出身作家コーナーの充実（絵本作家分等も含めて）

#### 2 親と子の読書推進

- (1) 館内おはなし会の実施、小学校等への派遣事業の実施
- (2) 図書館事業のパートナーとしての読み聞かせボランティアの育成と支援
- (3) 学級や読書サークル等への団体貸し出しの実施
- (4) 児童読書感想文及び児童読書感想画コンクールの実施

- (5) 手づくり絵本・紙芝居コンクールの実施
  - (6) 乳幼児や児童とその親に対する読書推進事業の実施（ブックスタート事業による啓発）
  - (7) 市立図書館活用を含めた学校図書館支援
- 3 高齢者・障がい者等への配慮と一般市民の読書推進
- (1) 自動車文庫「やまびこ号」による移動図書館事業の拡充及び事業 PR（各種イベント参加を含む）
  - (2) 高齢者福祉施設等への対面朗読ボランティア派遣と当該ボランティアの育成支援
  - (3) DVDの充実による利用推進と大活字本、録音図書（CD）活用推進
- 4 郷土への理解と地域文化の振興
- (1) 第55回上野甚作賞短歌の募集及び表彰と歌集の発行
  - (2) 図書館開館100周年記念プレ事業として「新徴組に関する講演会」、「佐藤誠朗文庫公開記念シンポジウム」の開催
- 5 図書館サービスの充実と図書館情報の一元化
- (1) 新図書館システムによる図書サービスの一層の充実（館々間の連携）
  - (2) 受付窓口での図書資料の案内と参考相談の推進
  - (3) 各種広報媒体等を活用した図書館の利用案内と図書館事業の PR
  - (4) 他の図書館の情報収集と相互協力
  - (5) 良好な図書館環境の維持・保全
  - (6) 市民要望を踏まえた図書館づくり
- 6 「子ども読書推進計画の策定」に向けた準備と関係部局との連携

## 地域に根ざした郷土資料館づくり

鶴岡市郷土資料館は、昭和51年に庄内地方の歴史資料（古文書等）を取り扱う、東北でも珍しい「文書館」的な施設として鶴岡公園内に設立されましたが、平成20年1月より市立図書館に併設されています。地元はもちろん、全国から調査・研究のための来訪者も多く、地域史料の殿堂として大きな役割を果たしています。

また、市町村合併に伴う全市域を対象とした集落伝来古文書のアンケート調査をほぼ終え、今後は民間に保管されている史料の調査を継続し、失われつつある文書の保存を推進し、更に利用者の便宜を図ります。そのため、現有資料の整理を進めるための市民ボランティアの育成支援を継続し、地域に根ざした資料館として一層の事業充実を図ります。

### 1 郷土史の調査・研究のための史料の収集と整理・活用

- (1) 古文書等郷土資料の調査、収集と整理、活用及び公開
- (2) 郷土出版物、庁内出版物及び郷土出身者の著書の重点収集と整理
- (3) 所蔵資料の整理促進を図るための市民ボランティアの育成支援
- (4) 貴重・劣化資料のデジタル化の推進
- (5) 郷土資料散逸防止（現地保存）の啓発

### 2 地域の情報拠点としての郷土資料館

- (1) 郷土に関する各種相談への対応と史料提供
- (2) 市民への資料公開（館蔵資料展等）
- (3) 各種広報媒体等を活用した郷土資料館の周知と利用PR

### 3 所蔵史料の利用促進

- (1) 所蔵史料のデータベース化と検索システムの構築に向けた検討
- (2) 松本十郎目録の作成と他所蔵史料目録（デジタルデータとしても）発行に向けた整理、調査の継続
- (3) 佐藤誠朗文庫等の市民へのPR
- (4) 諸家文書目録（既発行分）の利用促進

### 4 郷土愛の育成と地域文化の振興

- (1) 古文書解説及び郷土史関連の講座の開催
- (2) 郷土史関係団体への協力と連携（庄内歴史懇談会、温故の会等）

## 平成25年度 主 要 事 業

### (1) 本 館

事 業 名	対 象	事 業 内 容	実 施 時 期
春のたねまきおはなし会	幼児・小学生	素語り・おはなし会	5月12日
夏のおはなし会	幼児・小学生	紙芝居・おはなし会	7月26日・27日
天神祭への協賛事業	一般	市民へ除籍本等のプレゼント	5月25日
緑陰文庫	一般	本のリサイクル	7月24日～7月28日
手づくり絵本・紙芝居 コンクール	幼児・小学生 一般	親子、祖父母などで手づくり絵本や紙芝居作りを楽しむ	8月募集 9月表彰式
児童読書感想文 コンクール	小学生	読書週間記念事業	9月募集 10月表彰
児童読書感想画 コンクール	小学生	読書週間記念事業	10月募集 12月表彰及び展示
クリスマスえほんまつり	幼児・小学生	絵本読み聞かせ・紙芝居他	12月
上野甚作短歌募集	一般	上野甚作の功績を讃え 優秀作品の顕彰	1月募集 3月表彰
対面朗読 ボランティア派遣	福祉施設入所者 館内対面朗読（月1回）	紙芝居、エッセイの朗読他	第1土曜日・4水曜日 奇数月第2土曜日
子どもおはなし会	幼児・小学生	絵本読み聞かせ・紙芝居他	毎週水・土曜 第4水曜（幼児）
おはなしボランティア派遣	学区・地区	素語り・ブックトーク	6月上旬～1月
ブックスタート事業 （健康課7か月児検診時）	乳児と保護者	お薦め本の紹介等	月2回



## (2) 藤島分館

事業名	対象	事業内容	実施時期
親子読書会	幼児・小学生、保護者	絵本・紙芝居等の読み聞かせ	9. 12. 3月
館内読み聞かせ事業	幼児・小学生	絵本の読み聞かせ 絵本の紹介	毎週水曜日
おはなしボランティア派遣事業	幼児・小学生、保護者	絵本の読み聞かせ おはなし会	依頼があるとき

## (3) 羽黒分館

事業名	対象	事業内容	実施時期
おはなし会	幼児・小学生低学年、保護者	季節毎の絵本などの読み聞かせ	7・8・9・12・2月
絵本・紙芝居の読み聞かせ	幼児・小学生低学年	図書ボランティアによる絵本・紙芝居の読み聞かせ会	3月

## (4) 榎引分館

事業名	対象	事業内容	実施時期
おはなしひろば	幼児・小学生	図書館ボランティアによる絵本・紙芝居の読み聞かせ	毎月第3土曜日 10:30～11:30
昔話を楽しむ会	幼児・小学生	図書館ボランティアによる昔話民話など語りの実施	毎月第2土曜日 10:30～11:30
人形劇公演	幼児	人形劇サークルによる公演	8月29日・30日

## (5) 朝日分館

事業名	対象	事業内容	実施時期
絵本のよみきかせ	幼児・小学生	絵本のよみきかせ	第2・4土曜日 10:00～10:30
なつのおはなし会 ふゆのおはなし会	幼児・小学生	絵本のよみきかせ、人形劇等	7月 12月

(6) 温海分館

事業名	対象	事業内容	実施時期
雨の日のおはなし会	幼児・小学生等	絵本等の読み聞かせ・劇	6月16日
七夕おはなし会	幼児・小学生等	絵本等の読み聞かせ・絵本の自由閲覧	7月7日
お月見おはなし会(鼠ヶ関保育園)	幼児・高齢者	敬老会を兼ねて絵本の読み聞かせ等	9月11日
クリスマスおはなし会	幼児・小学生等	絵本の読み聞かせ等	12月1日
読み聞かせボランティア派遣	幼児・小学生等	絵本の読み聞かせ等	依頼があるとき

平成25年度 自動車文庫駐車場

学区及び地域名	駐 車 場	箇所	備考
第一学区	第一学区CC	1	
第三学区	鶴が丘	1	
第四学区	稲生公民館	1	
第五学区	朝陽町公民館	1	
湯田川	湯田川CC(湯田川小)、(湯田川保育園)	1	
大 泉	農村センター、井岡、大泉保育園	3	
栄	栄CC、平田、中京田、栄小学校	4	
田 川	中組公民館、田川小学校	2	
上 郷	上郷CC、水沢化学、上郷小学校	3	
三 瀬	三瀬CC、三瀬小学校	2	
小 堅	小堅小学校、小堅CC	2	
由 良	由良CC、由良小学校	2	
加 茂	加茂CC、加茂小学校	2	
湯野浜	湯野浜CC、思恩園	2	
大 山	大山二丁目、友江荘、老人施設「おおやま」	3	
西 郷	西郷農村活性化センター、西郷小学校	2	
藤 島	東栄小学校、長沼小学校、渡前小学校	3	
羽 黒	羽黒四小公民館、手向公民館、 羽黒一小、羽黒四小、瑞穂の郷	5	
櫛 引	くしびき東部保育園、くしびき南部保育園、櫛引南小 くしびき西部保育園、櫛引学童、東北産業㈱	6	
朝 日	朝日大泉小学校、大網小学校	2	
温 海	鼠ヶ関小学校、山戸小学校、五十川小学校、温海小 学校、福栄小学校	5	
合 計		53	

・小学校 22校 ・高齢者施設 5施設 ・企業 2箇所

# 購読新聞・雑誌一覧

平成25年7月現在

## 新聞

### 本館

※ 永年保存

※山形新聞	※毎日新聞	※荘内日報	朝日新聞
日本経済新聞	河北新報	読売新聞	産経新聞
ニッポン・タイムズ	週刊読書人	毎日小学生新聞	
※朝日新聞縮刷版	※山形新聞縮刷版	※山形新聞 (CD-ROM)	

### 藤島分館

10 10年保存

5 5年保存

10 朝日新聞	5 山形新聞	日本経済新聞	
---------	--------	--------	--

### 羽黒分館

読売新聞			
------	--	--	--

### 櫛引分館

1 1年保存

1 毎日新聞	1 山形新聞	荘内日報	
--------	--------	------	--

### 朝日分館

2 2年保存

2 朝日新聞	2 荘内日報	2 日刊スポーツ	2 山形新聞
--------	--------	----------	--------

雑誌  
本館

※ 永年保存 ◇ 3年保存  
表示無しについては1年保存

※エコノミスト	※キネマ旬報	※暮らしの手帖	※子供の科学
※庄内小僧	※中央公論	※釣り東北	※地方史研究
※テアトロ	※世界	※日本歴史	※婦人公論
※文学	※時の法令	※歴史読本	※羽陽文化
◇NHK ぎょうの料理	◇カー・マガジン	◇住まいの設計	◇相撲
◇短歌	◇ノンノ	◇プレジデント	◇ミセス
◇メンズクラブ	◇MORE (モア)	◇囲碁ワールド	文藝春秋
旅の手帖	趣味の園芸	クロワッサン	オレンジページ
会社四季報	将棋世界	芸術新潮	アサヒカメラ
ナンバー	俳句	小説新潮	ちいさいおおいよわいつよい
おしゃれ工房	すてきにハンドメイド	ぎょうの健康	やさしい畑
クーヨン	週刊朝日	週刊新潮	サンデー毎日
週刊金曜日			

藤島分館

◇うかたま	◇すてきな奥さん	◇文藝春秋	◇ぎょうの料理
◇ぎょうの健康	◇すてきにハンドメイド	◇家の光(寄贈)	

羽黒分館

◇サライ	◇ぎょうの料理	◇すてきにハンドメイド	
------	---------	-------------	--

櫛引分館

◇庄内小僧	日経ヘルス	文藝春秋	LEE
ノンノ			

温海分館

◇サンキュ!	◇庄内小僧	◇BE-PAL	
--------	-------	---------	--

## 新聞・マイクロフィルム等保存一覧

	現物保存	マイクロ保存	デジタル化	地方版の有無	縮刷版の有無
朝日新聞 ※1	平成23年以降			昭和53年以降	昭和18～19年 昭和23年以降
毎日新聞	平成5年以降			昭和34年以降	
読売新聞 ※1	平成23年以降			昭和34年以降	
産経新聞 ※2	平成19年以降				
日本経済新聞 ※2	平成23年以降				
河北新報 ※2	平成23年以降			昭和52年～平成18年	
山形新聞	昭和31年以降	明治9年～昭和23年	明治9年～昭和30年	全紙	昭和63年～平成16年 平成17年4月～CD-ROM
荘内日報	昭和25年以降	昭和24年～27年	昭和24年～34年		
荘内自由新聞	昭和21年～24年	昭和21年～24年	昭和21年～24年		
荘内新報	大正5年～昭和15年	大正5年～昭和15年	大正5年～昭和15年		
鶴岡日報	大正10年～昭和15年	大正10年～昭和15年	大正10年～昭和15年		
鶴岡新聞	大正13年～昭和4年		大正13年～15年		
鶴岡新報	昭和15年～17年	昭和15年～17年	昭和15年～17年		
新庄内	昭和8年～19年		昭和8年～19年		
荘内春秋	昭和7年～12年		昭和7年～12年		
出羽新報	昭和26年～27年		昭和26年～27年		
日刊荘内	昭和29年～30年		昭和29年～30年		
田川ニュース	昭和24・32・34年		昭和24・32・34年		
荘内タイムス	昭和35年～37年		昭和35年～37年		
酒田新聞			明治41年～大正11年		
自由市民			昭和24年		
公論			大正13年～14年		

※1 地方版以外は2～3年で廃棄

※2 2～3年で廃棄

※デジタル化済のものは現物閲覧不可

## ボランティア団体の活動

### ◎ 朗読ボランティア「わらしべの会」 (本館)

昭和 56 年 鶴岡市の障害者福祉都市宣言事業に呼応し、視聴覚障害者に対する録音テープ製作ボランティアを募る。(応募者 15 名)

昭和 59 年 朗読の技術向上を目的に、3 ヶ月間の朗読講習会を図書館主催で開催する。(開催回数 7 回)

昭和 62 年 講習会受講者の有志により、会を設立する。

《活 動》 ・ 対面朗読 ・ 月 4 回 (第 1 土曜日・第 4 水曜日、奇数月第 2 土曜日)  
老人ホーム (湯野浜思恩園・しおん荘・友江荘・池幸園) を訪問。  
・ 隔月 (奇数月の第 2 土曜日)  
知的障害者施設 (愛光園) を訪問  
入所者にエッセイ・紙芝居などの対面朗読を行う。

### ◎ おはなしボランティア「おはなしポケット」(本館)

昭和 57 年 児童文学講座を開催する。

昭和 60 年 図書館主催「おはなし会」に講座受講生がボランティアとして参加する。

平成元年 有志により会を設立する。

《活 動》 こどもおはなし会 毎週水曜日・土曜日・第 4 水曜日  
紙芝居や絵本の読み聞かせを行う。  
「春のたねまきおはなし会」「夏のおはなし会」「クリスマスえほんまつり」等への協力  
派遣事業 小学校や地域の親子読書会などで、紙芝居・絵本の読み聞かせなどを行う。

### ◎ 古文書解読ボランティア (本館)

平成 24 年 郷土資料館が開催してきた、古文書解読講座の受講生の有志で結成。

《活 動》 月 2 回の例会で古文書や古写真の整理をする

### ◎ おはなしボランティア「おはなし玉手箱」 (藤島分館)

平成 2 年 藤島町立図書館の司書や利用者の有志でおはなし会を開催する。

平成 4 年 広報でおはなしボランティアを募り、「おはなし玉手箱」を設立する。

《活 動》 ・ 図書館主催の親子読書会を年 4 回企画し、公演する。  
・ 小学校・児童館・公民館などで、おはなし会を開催する。  
・ 庄内おはなしサークル連絡会の会員として、年 1 回のおはなしフェスティバルに参加し、情報交換やおはなしの技術向上に努める。

◎ 図書ボランティア「羽黒出羽路会」 (羽黒分館)

平成6年 高齢者の生きがいをづくりと幼児・児童が読書の楽しみを発見し、読書習慣の形成・継続の一助となるために読み聞かせを実施。  
大型紙芝居の制作を開始する。

《活動》 ・大型紙芝居の制作

羽黒地域に伝えられている話を掘り起こし、制作。

これまでに制作した紙芝居

「蜂子皇子物語」(平成9年)「天宥別当物語」(平成11年)「如来さんになったお竹さん」(平成14年)「青い目の人形ものがたり」(平成16年)「庄内おぼこ物語」(平成19年)「疣とり地藏様」(平成22年)

- ・制作した大型紙芝居を通しての地域での交流
- ・各小学校での本の読み聞かせ実施。

◎ 櫛引語りっこの会 (櫛引分館)

平成2年1月発足

《活動》 昔話を楽しむ会 毎月第2土曜日

昔話・紙芝居・昔の遊びの紹介など。

地域内小学校、各自治公民館、老人介護施設等でも依頼に応じての語りを行っている。

◎ アナシサークル (櫛引分館)

平成8年4月発足

《活動》 おはなしひろば 毎月第3土曜日

紙芝居や絵本の読み聞かせなどを行っている。

◎ あさひこの本だいすきの会 (朝日分館)

平成10年4月発足 (会員10名)

《活動》 毎月第2・4土曜日 紙芝居や絵本の読み聞かせなどを行っている。

たなばたおはなし会・クリスマスおはなし会を実施。

特別養護老人ホーム「かたくり荘」で月一回、絵本の読み聞かせやエプロンシアターなどを行っている。

◎ 温海絵本読み聞かせ隊 [ポッケ] (温海分館)

平成15年 読み聞かせボランティアを募り、会を設立する。(会員20名)

《活動》 派遣事業 小学校、保育園、授産施設などで紙芝居・絵本の読み聞かせ・エプロンシアターなどを行っている。

4月～3月まで (年間約150回活動/平成24年度実績)  
図書館主催のおはなし会等への協力。



## 郷土資料館の概要

鶴岡市郷土資料館は、昭和51年に郷土の文化遺産、とりわけ文献資料を取り扱う県内最初の文書館的施設として設置された。それまで図書館で収集してきた郷土資料を末永く保存するとともに、散逸・消滅の危機にさらされている民間の資料を調査・収集・受託しこれらに本格的な整理を施して一般の利用に供するというものである。また「鶴岡市史資料編」刊行のための事務局も兼ね、図書館・市史編纂室と三者一体となって運営されることになった。

昭和60年新図書館の竣工・開館にともない、展示機能だけを残して、ほとんどの業務は新図書館の郷土資料室に移された。平成11年度からは展示機能も移され、さらに建物の解体に伴い、平成20年1月より名実ともに図書館2階に併設となり、専任職員と学習相談員を置いて、史料の所在調査・収集・整理・保存・閲覧・展示・参考相談、各種講座の開催などの業務を行っている。

収蔵文書の代表的なものをあげれば次の通りである。

- 幕領角田二口村の名主・酒造家佐藤家の「二口文書」(4,600点余 典籍 1,571冊 受託)
- 温海組 13ヶ村の大庄屋・本間家の「温海文書」(1,375点)
- 清川組などの各地の大庄屋を勤めた斎藤家の「清川斎藤家文書」(3,800点 受託)
- 鶴岡城下の町人町を総括していた町大庄屋の「宇治家文書」(358点)
- 酒田の廻船問屋「鑑谷家文書」(563点)「尾関家文書」(1,679点)
- 藩庁文書を分類・整理した「閑散文庫」(206冊)
- 家老の「竹内家文書」(職務日誌など 1,128点 一部受託)
- 藩の公式文書を取扱った右筆「辺見家文書」(402点 受託)
- 加茂の大地主「秋野家文書」(25,000点 受託)
- 大山の酒造家・村役人「羽根田家文書」(4,019点)
- ワッパ騒動に関する「森藤右衛門文書」(132点 受託)
- 心学の普及に尽くした荒井和水の「荒井家心学史料」(167点 受託)
- 郷土史家「阿部正己文庫」(松山藩史料や北海道史料を含む。5,030点)
- 自由律の俳人「渡会愚守史料」(860点 受託)
- 軍人思想家「石原莞爾史料」(遺品・原稿・関係文献 8,410点)
- 郷土の近世近代史研究家「佐藤誠朗文庫」(書籍・原稿・関係文献点)

この外に、京田・湯田川・関根・堅苔沢・大網など各地区の農村文書、藩校致道館の蔵書、新堀村などの行政文書、大正5年以後の地元新聞など、その総数は320件・約22万点(未整理を含む)に上っている。

なお、これらの古文書の内主要なものは『諸家文書目録』(12冊)として刊行され利用者の便宜が図られている。

平成24年度 郷土資料館の事業

事業名	対象	内容	時期	適用
古文書解説講座	一般	郷土の歴史や文化の理解	1月2月 3講	参加者 35人
講演会	一般	「柏戸を語る」 講師 三浦健氏	8月25日	参加者 33人
	一般	佐藤賢一が語る「新徴組と幕末」	1月12日	参加者 90人
展示会	一般	郷土の生んだ大横綱～ 柏戸展	5月15日～ 9月30日	横綱柏戸記念館との共催
		新徴組 江戸から庄内へ、 剣客集団の軌跡	10月10日～ 1月14日	日野市立新選組のふるさと歴史館と共催
		史料で見る庄内の地震展	2月26日～ 3月	

デジタル化による保存を実施した資料

- ・新聞 日刊庄内、庄内新聞、荘内タイムス、荘内日報（昭和34年まで）
- ・絵図 出羽鶴岡城下絵図、五日町絵図、七日町絵図、十日町絵図、亀ヶ崎絵図、羽州庄内亀ヶ崎絵図、羽後国飽海郡松嶺旧藩家屋の絵図

平成25年度主要事業

事業名	対象	事業内容	実施時期
企画展	一般	史料で見る庄内の地震展	(2月)～6月9日
		幕末の庄内藩 品川台場警備と 蝦夷地経営展	6月30日～ 9月1日
		佐藤誠朗の世界展	9月～
		松本十郎展	1月～
郷土資料館講座	一般	宮地正人氏講演会 「幕末維新における庄内藩と新徴組」	6月22日
	一般	シンポジウム庄内の近現代史研究の先駆者 佐藤誠朗先生を語る会	9月14日
古文書解説講座	一般	郷土の歴史や文化の理解	下半期
資料目録刊行		松本十郎資料の目録を発刊	

# 平成25年 鶴岡市立図書館本館カレンダー

電話 25-2525

1月

日	月	火	水	木	金	土
		①	②	③	4	5
6	⑦	8	9	10	11	12
13	14	⑮	16	17	18	19
20	⑳	21	22	23	24	25
26	27	⑳	29	30	31	

2月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	16
17	⑱	19	20	21	22	23
24	⑳	26	27	28		

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	④	5	6	7	8	9
10	⑪	12	13	14	15	16
17	⑱	19	20	21	22	23
24	⑳	26	27	28	29	30
⑳						

4月

日	月	火	水	木	金	土
		①	2	3	4	5
6	⑦	⑧	9	10	11	12
13	14	⑮	16	17	18	19
20	21	⑳	22	23	24	25
26	27	⑳	29	⑳		

5月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	⑦	8	9	10	11
12	⑬	14	15	16	17	18
19	⑳	21	22	23	24	25
26	⑳	28	29	30	31	

6月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	③	4	5	6	7	8
9	⑩	11	12	13	14	15
16	⑱	18	19	20	21	22
23	⑳	24	25	26	27	28
29	⑳					

7月

日	月	火	水	木	金	土
		①	2	3	4	5
6	⑦	⑧	9	10	11	12
13	14	⑮	16	17	18	19
20	21	⑳	22	23	24	25
26	27	⑳	29	30	31	

8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	⑤	6	7	8	9	10
11	⑫	13	14	15	16	17
18	⑱	20	21	22	23	24
25	⑳	27	28	29	30	31

9月

日	月	火	水	木	金	土
1	②	3	4	5	6	7
8	⑨	10	11	12	13	14
15	⑱	17	18	19	20	21
22	⑳	23	⑳	25	26	27
28	⑳	⑳				

10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	⑦	⑧	9	10	11	12
13	14	⑮	16	17	18	19
20	⑳	22	23	24	25	26
27	⑳	29	30	31		

11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	⑤	6	7	8	9
10	⑪	12	13	14	15	16
17	⑱	19	20	21	22	23
24	⑳	26	27	28	29	30

12月

日	月	火	水	木	金	土
1	②	3	4	5	6	7
8	⑨	10	11	12	13	14
15	⑱	17	18	19	20	21
22	⑳	23	⑳	25	26	27
28	⑳	⑳	⑳			

休館日 (○印)

毎週月曜日(祝祭日に重なった場合は、翌日)  
 年末年始(12月29日から1月3日)  
 特別図書整理期間(2月4日~15日)  
 年度末更新日(3月31日)

開館時間

平日 午前9時30分~午後7時(12月~2月は午後6時)

土・日曜日・祝祭日 午前9時30分~午後5時

## 鶴岡市立図書館

[本館・郷土資料館]997-0036 鶴岡市家中新町14-7

電話 : 25-2525 FAX : 25-2526

[藤島分館]997-7601 鶴岡市藤島字山ノ前99 東田川文化記念館内

電話 : 64-2537 FAX : 64-2396

[羽黒分館]997-0141 鶴岡市羽黒町荒川字谷地堰28番地 羽黒コミュニティーセンター内

電話 : 62-4627 FAX : 62-4627

[櫛引分館]997-0346 鶴岡市上山添字文栄60番地 櫛引情報センター内

電話 : 57-5681 FAX : 57-5682

[朝日分館]997-0492 鶴岡市下名川字落合220番地 朝日山村開発センターすまいる内

電話 : 53-2111(代) FAX : 53-2142(代)

[温海分館]999-7205 鶴岡市温海戊577番地1 ふれあいセンター内

電話 : 43-4411 FAX : 43-4427